

常陸大宮



2014
8
No.119

美和☆ふるさと祭り

主な内容

P2～5	9月1日は防災の日
P6～9	市行政改革の取り組み状況について
P10	市議会議員選挙結果
P11	食生活改善推進員の活動を紹介します
P12～18	まちのできごと

9月1日は防災の日

9月1日は「防災の日」です。大正12年（1923年）9月1日に発生した「関東大震災」を教訓に、防災を見直すために定められ、この時期に多く発生する台風への心構えの意味も含め、昭和35年（1960年）に制定されました。

東日本大震災から2年半を過ぎた現在でも、各地で大きな余震が発生しています。

いざという時、大切な命や財産を地震から守るには、日頃から危機意識を持つことが大切です。防災の日をきっかけに、家庭や職場などで生活の備えを再点検し、緊急時の連絡方法、帰宅経路の確認、食料品の確保など、ぜひ皆さんで話し合ってください。

ホームページで避難所や地震防災マップが確認できます



市ホームページのトップページ「暮らし」をクリック

常陸大宮市ホームページ

<http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

避難所は公民館・集会所や学校、避難場所は公園などが指定されています。常陸大宮市のホームページに「避難所情報」として所在地が記載されていますので、万が一に備え、事前にご確認ください。

また「市地震防災マップ危険度マップ」もホームページで確認できます。これは、地震の揺れによって発生する建物被害の分布を表したものです。危険度の数値が大きくなるほど、建物被害が大きくなることを示していますので、耐震診断を受け、必要に応じて耐震補強を行いましょう。

暮らしのお知らせ

ライフイベント

防災・防犯

洪水ハザードマップ

土砂災害ハザードマップ

救急医療

避難所情報

常陸大宮市地震防災マップ 揺れやすさマップ

常陸大宮市地震防災マップ 危険度マップ

常陸大宮市地域防災計画

救急・消防

常陸大宮市消防本部

休日・夜間当番医

茨城県救急医療システム

消防団関係連絡情報(消防団員向け)のページ

「避難所情報」をクリック

「市地震防災マップ危険度マップ」をクリック

家族や知人との連絡方法

【NTT災害用伝言ダイヤル 171】

*家族や知人同士で安否の確認や連絡等に活用できます。
利用にあたっての事前契約等は一切不要です。

- 利用できる端末 NTTの一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS
- 録音時間 1伝言30秒以内
- 蓄積伝言数 1電話番号あたり1～10伝言
- 伝言の保存期間 2日間(48時間:自動消法)
- ・伝言の録音方法 ① ⑦ ① → ① →
市外局番からガイダンスが流れます
(〇〇〇〇) ◇◇-□□□□
- ・伝言の再生方法 ① ⑦ ① → ② →
市外局番からガイダンスが流れます
(〇〇〇〇) ◇◇-□□□□



*被災地へのダイヤル方法

被災地の方は自宅の番号を、被災地以外の方は被災地の方の番号をダイヤルしてください。

非常時に必要なもの — チェックリスト —

* 1年に2回、賞味期限や使用期限を確認して新しいものに交換しましょう。

【貴重品】

- 現金(小銭も忘れずに)
- 預金通帳 権利証書
- 印鑑 健康保険証
- 身分証明書

【応急医薬品】

- 絆創膏
- 傷薬
- 包帯
- 消毒液

【衣類】

- 下着・上着・靴下
- 軍手 雨具
- タオル
- 毛布

【食器類】

- なべ・水筒
- 缶切・栓抜き
- 割り箸
- 紙のコップ・皿

【食料品】

- 水(1人1日3ℓが目安)
- 乾パン
- 缶詰やレトルト食品
- 栄養補助食品
- アルファ米
- ドライフード
- インスタント食品
- 梅干し
- チョコレート
- 菓子類(ビスケットなど)

- 調味料
- 粉ミルク・哺乳瓶
(赤ちゃんがいる場合)

【燃料】

- 卓上コンロ
- 固形燃料
- 携帯コンロ
- ガスボンベ

【日用品】

- 生活用水 生理用品 トイレットペーパー 使い捨てカイロ ビニール袋
- 洗面用具 携帯ラジオ ティッシュペーパー さらし ビニールシート
- バケツ 底の厚い靴 ウエットティッシュ ボール ポリタンク
- 口ウソク ヘルメット、ずきん ガムテープ 新聞紙 懐中電灯
- スコップ ライター、マッチ キッチン用ラップ 電池
- ロープ ドライシャンプー 寝袋 紙オムツ

【その他】各自必要なもの () ()

街を守る 安全を守る 消防団員募集！

消防団員Q & A

◎消防署とどう違うの？

消防署は常勤職員（消防職員）が業務に専念するのに対し、消防団員は特別職の公務員で、各自の職業に就きながら災害時等に活動します。



◎災害時にどんな活動をするの？ 平常時の活動は？

災害時には、消火活動や救助活動をはじめ、風水害の際には、河川の水位警戒や土のう積みなど様々な災害対応を行います。平常時は訓練のほか、応急手当の普及指導、住宅への防火指導、特別警戒、広報活動等に従事し、地域の防災力向上に重要な役割を担っています。

◎訓練等はいつ行っているの？

仕事が休みの週末や、平日の仕事が終わった後に集まり訓練などを行っています。

◎仕事をしてもできるの？

できます。消防団員は通常各自の職業（会社員・自営業等）に就きながら、災害時の活動、平常時の訓練、予防広報等に従事します。



◎女性でも入団できるの？ できる活動は？

現在、約2万人の女性消防団員が全国で活躍しています。市でも23人の女性消防団員が、救命講習会や防火教室、広報活動等で活躍しています。

資格や制度について

入 団 資 格	年齢18歳以上で常陸大宮市に居住または勤務している方。（男女問わず）
報 酬 等	年間一定額の団員報酬のほか、災害出動した場合などに手当が支給されます。また5年以上在籍された方には、退団の際に退職報償金の支給があります。
公 務 災 害 補 償	消防団活動中のけが等に対して補償制度があります。
消防団福祉共済制度	公務を問わず、けが・疾病により一定期間入院した場合の入院見舞金や、死亡・重度障害になった場合の一時援護金の支給等があります。
表 彰 制 度	団員としての功績に対し、様々な表彰制度があります。

入団を希望される方、詳しい内容を知りたい方は、お気軽にお問い合わせください。

■問い合わせ■ 消防本部 総務課 地域消防グループ ☎53 - 1152

救急の日イベント

市制施行・合併10周年記念

消防・救急フェア 2014 & 時空戦士イバライガーショーを開催します

市文化センターで、地震・消火・応急手当・レスキュー等の体験や救急器具の展示、消火器の取り扱いのレクチャー、消防車両等の展示などを行う「消防・救急フェア2014」を開催します。また、時空戦士イバライガーのショーや握手・写真撮影会を行います。

皆さんのお越しをお待ちしています。

模擬店も
あるよ！

9月13日(土) 10:00～16:00

市文化センターロゼホール

【時空戦士イバライガーショー】

*1回目 10:00～ *2回目 14:00～

【各体験コーナー】 10:00～16:00

(起震車、消火、応急手当、消防車両と資機材、レスキュー …etc)

※雨天の場合は、体験コーナーを一部中止します。

【救助・救急デモンストレーション】

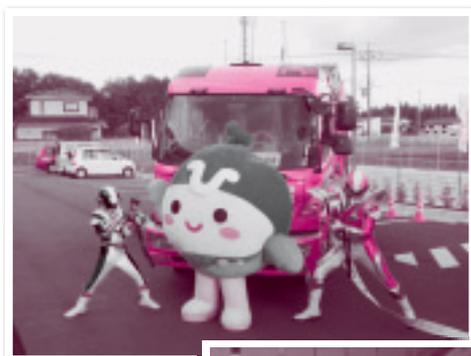
【市消防団展示コーナー】

【ひとり農業：渡辺 直道さんトークショー (調整中)】

13:00～



<昨年の「救急フェア 2013」の様子>



■問い合わせ■ 消防本部 警防課 警防グループ ☎53-1153

平成25年度 常陸大宮市行政改革の取り組み状況

全国的な少子高齢化の進展や「基礎自治体への権限移譲」を基本とした事務配分の見直しなど、社会情勢は変化しています。そのため、市民と行政の役割を明確にし、民間の優れた視点や発想を取り入れ、市民満足度が向上するよう、限られた財源を有効に活用する行政経営への転換を進めていく必要があります。

市では、平成23年度から平成27年度の5年間で推進期間とした「第2次常陸大宮市行政改革大綱」を策定し、行政改革の取り組みを推進しています。

平成25年度における主な取り組み状況をお知らせします。

基本方針1 市民との協働によるまちづくり

地域の個性や特色を生かした、地域にふさわしいまちづくりを推進するため、その基本となる「協働のまちづくり基本計画」を策定し、地域自らが責任を持って実践できるよう地域の実情に合った自治組織の育成を図り、市民と行政の役割分担を明確にし、協働のまちづくりを推進します。

①市民と行政の役割分担

○平成25年7月に区長会役員会と市執行部で行政懇談会を開催しました。また、区長会の活動として、まちづくり先進事例の視察研修や講話会を開催するなど、地域の実情や問題点、市政の課題等について情報の共有化を図り、自治組織の育成を推進しました。

②市民参画（協働）の推進

○条例及び計画等の策定にあたっては、市民の意向を把握・分析し、政策に反映させるため、パブリックコメントを実施し、市民参画（協働）の推進を図りました。

[パブリックコメントを実施した条例・計画等の名称]

- ・常陸大宮市安全な飲料水の確保に関する条例
- ・第二次健康常陸大宮21計画

○第2次常陸大宮市男女共同参画計画に基づき、審議会等への女性委員の登用を推進した結果、平成25年4月1日現在における18附属機関の女性登用率は27.8%となりました。

○市内の各分野で活躍する市民の方を広く発掘・登用し、豊かな人間関係と地域社会に貢献することを目的として、平成25年12月に「常陸大宮市人財ネットワークひたまる先生会」が発足し、市民が共に学び合う「共育」と市民による「ひとづくり」を推進しました。

③茨城大学との連携によるまちづくり

○市と地域連携に関する協定を締結している茨城大学の知的財産を積極的に活用し、市民・大学・行政が連携・協働したまちづくりを推進しました。

[取り組み内容]

- ・市民大学講座の開催
秋講座「紙・和紙について学ぶ」
春講座「茨城の歴史と文化を学ぶ」
- ・常陸大宮市まちづくりネットワーク会議の開催
- ・市の審議会や各種委員会に茨城大学の教授等12人を委員として委嘱



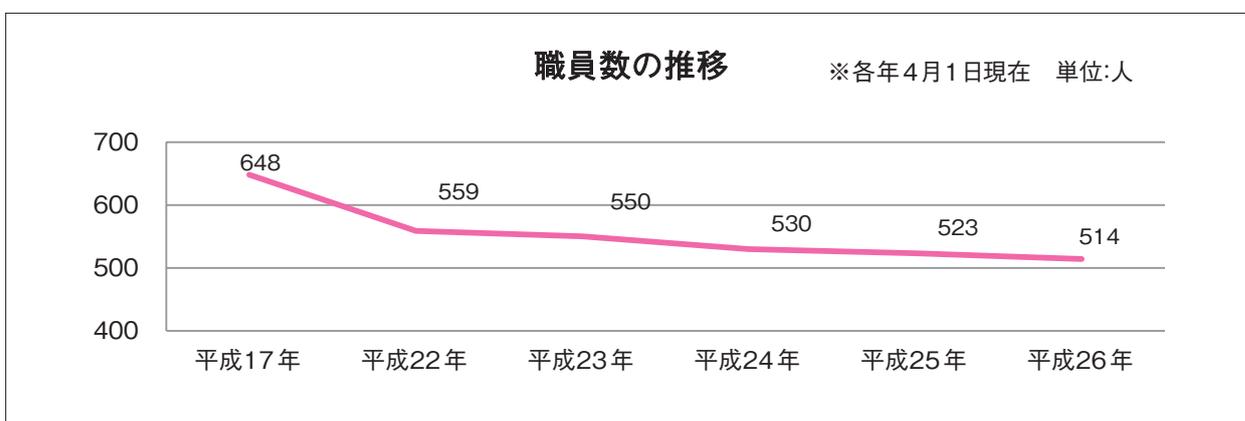
▲市民大学講座の様子

基本方針2 効果的・効率的な事務事業の推進

地方分権時代を迎えた地方行政は、一層の効率化と透明性が求められています。限られた財源の中で、新たな行政課題や社会経済情勢の変化に迅速に対応し、最少の経費で最大の効果を挙げるため、積極的に事務事業の見直しを行い、簡素で効率的な行政経営を推進します。

①事務事業の見直し

- 行政評価を実施し、「事務事業の見直しによる効率的な行政運営」と「市民への説明責任・透明性の確保」に努めました。(事務事業評価 70事業)
- 6月を強化月間として職員提案制度の奨励を行い、職員の意識啓発と能力開発を推進し、行政運営の効率化及び市民サービスの向上に努めました。(提案数 24件)
- 市定員適正化計画に基づき、計画的に職員を削減することで、人件費の抑制及び定員適正化を推進しました。(計画目標 平成22年4月1日 559人 → 平成27年4月1日 503人以下)
その結果、平成26年4月1日現在の職員数は514人となっています。



- 下水道使用料の徴収事務委任により、平成26年2月から上水道と下水道の料金賦課業務を一元化し、事務の効率化及び経費の節減を図りました。
- 「常陸大宮市安全な飲料水の確保に関する条例」を制定し、これまで県が実施していた小規模水道及び飲用井戸等の事務を受託し、市が許認可を行うことで、手続時間の短縮が図られ、市民の利便性が向上しました。
- 市民に身近な行政サービスについて、事業別行政コスト計算書(15事業)を作成し、コスト意識の醸成を図りました。

②民間委託等の推進

- 山方農林水産物直売・食材供給施設及び美和農林水産物直売・食材供給施設への指定管理者制度の導入を推進し、温泉・温浴施設との一体的な管理運営体制を構築することにより、管理運営コストの節減及び市民サービスの向上を図りました。

③補助金の見直し

- 「常陸大宮市補助金等見直し要領」に基づき、平成26年度当初予算の編成において市単独補助金の見直しを実施し、整理合理化・適正化に努めました。

④経費の節減・合理化

- 第2次常陸大宮市地球温暖化対策実行計画に基づき、市役所の事務事業実施時における環境対策及び省エネによる経費節減に努め、事務事業活動での温室効果ガスの排出抑制に取り組みました。

⑤電子自治体の推進

- 常陸大宮市と那珂市、かすみがうら市、五霞町の4市町において「いばらき自治体クラウド基幹業務システム」の整備運営に関する協定を締結し、平成27年1月からの稼働に向けた取り組みを推進しました。
- ※自治体クラウドとは、これまで市役所庁舎内に設置していた住民基本台帳や税務などの基幹システムをすべて民間のデータセンターに移管し、共通化したシステムを複数の自治体で共同利用することにより、業務の効率化やシステム運営経費の削減が図られるほか、災害発生時の情報保全や自治体間で業務の相互連携を図るものです。

基本方針3 自立した財政基盤の確立

景気の低迷、地方分権の進展を適切に判断し、将来にわたって安定した行政経営を行えるよう財政運営の見直しを図り、企業誘致の推進と市税等の自主財源の確保に全力で取り組みます。

また公債費が多額になり、公債指標は高い水準を示しています。市債の発行にあたっては、中長期的財政展望に立った財政収支見通しを作成し、市債の発行を抑制しつつ効果的な財政運営に努めます。

①自主財源の確保

- 副市長を委員長とする未収金対策委員会において、債権管理基本方針及び滞納整理マニュアル等について検討を行うとともに、税及び税外収入の収納率に目標値を設定して、未収金対策に取り組み、情報の共有化及び収納率向上を推進し、自主財源の確保に努めました。
- 市税等の収納率向上を図るため、一斉滞納整理や茨城租税債権管理機構への事案移管のほか、一般財団法人茨城県住宅管理センターに市営住宅使用料等の滞納整理業務を委託し、収納対策の強化に取り組み、自主財源の確保と市民負担の公平性の観点から、収納率の向上を推進しました。
- 企業立地フェア及び企業立地セミナーに参加し、市内工業団地への企業誘致を推進した結果、宮の郷工業団地で1社が操業を開始、また、水戸北部中核工業団地では1社が用地を取得し、地元の雇用創出と自主財源確保の面において効果がありました。
- 統合簡易水道事業を進めている現状を踏まえ、簡易水道と上水道の料金の統一を図るため、簡易水道料金の改定を行い、受益者負担の公平化を推進しました。

②市有財産の活用

- 遊休地等の利活用及び処分を行い、市有財産の適正な維持管理と自主財源の確保を推進しました。
- 地域経済の活性化と自主財源の確保を推進するため、市のホームページや広報紙等を活用し、有料広告を実施しました。

基本方針4 新たな行政需要に対応できる執行体制の確立

新たな行政課題や、市民のニーズに対応した施策や事業が展開できるよう、簡素で効率的な組織を基本に、市民に分かりやすく、機能的な組織体制づくりを進めます。

また、市民サービスにつながる権限受託を積極的に行い、質の高いサービスを提供できる行政経営を推進するため、市民の視点に立って課題を解決できる職員の育成に取り組みます。

①組織機構の見直し

○政策目標の実現に向けて効率的、効果的な組織づくりを推進するため、組織機構の見直しを行いました。

【新設】歴史資料として重要な公文書等を収集・保存するため生涯学習課内に文書館（文書館グループ）を設置



▲文書館

②人材の育成と確保

○県への実務研修生の派遣、県自治研修所が行う特別研修や階層別研修への参加、市独自の研修の実施、職員の政策形成能力等の向上など、人材育成に取り組みました。

○職員採用情報をホームページや広報紙お知らせ版等に掲載し、市内外から広く有能な人材の確保に努めました。

基本方針5 公正の確保と透明性の向上

行政経営の公正の確保と透明性の向上を図るため、行政手続制度を適正に運用するとともに、行政情報の積極的な提供、監査機能の充実・強化を図ります。

①市民への情報発信と情報の共有化

○情報公開制度の開示状況等について広報紙に掲載し、制度の普及啓発と条例の適正な運用に努めました。

[平成25年度開示状況]

・市長部局 10件 ・教育委員会 3件

○市が主催または共催するイベントや放射線量測定結果などの情報を市のホームページに掲載し、迅速に広く情報発信を行いました。また、市民に親しまれるようホームページのリニューアルを行いました。

②監査機能の強化

○市町村アカデミー特別講座に参加し、監査委員の高度かつ広範な知識の習得に努め、機能等の強化を図りました。

全国的な少子高齢化、地方分権の進展により社会情勢は大きく変化しています。今後も行政サービスを継続的かつ効率的に行うため、行政改革に取り組んでいきます。

平成25年度行政改革取り組みの成果

取り組み事項	効果額(単位:千円)	説明
人件費の抑制	166,010	人件費の削減額
事務的経費の節減及び補助金の見直し	397	事務的経費の節減額及び補助金の整理合理化等による効果額
省エネ対策の推進	61,853	省エネ対策への取り組みによる効果額
収納対策の強化	71,153	税務徴収課職員による特別滞納整理等の収納額
遊休財産の処分	1,142	遊休市有地の売却額
有料広告の実施	803	有料広告掲載料
計	301,358	

■問い合わせ■ 総務課 行政改革推進室 ☎52-1111(内線321)

常陸大宮市議会議員一般選挙結果

任期満了に伴う常陸大宮市議会議員一般選挙が7月27日に行われました。

投票は、午前7時から午後6時まで市内74カ所の投票所で行われ、午後7時30分から西部総合公園体育館で即日開票されました。

投開票の詳細は下記のとおりです。

○投票結果

当日の有権者数	男	女	合計
	18,473人	19,079人	37,552人

投票者数	男	女	合計	投票率
	12,610人	13,200人	25,810人	68.73%

○開票結果 (得票順)

候補者氏名	性別	住所	年齢	党派	現新元	得票数
当 黒部 博英	男	上 町	40	無 所 属	新	2,131
当 吉川 美保	女	鷹 巣	58	公 明 党	現	1,524
当 三次 弘史	男	西 野 内	59	無 所 属	新	1,521
当 富山 和男	男	上 村 田	64	無 所 属	新	1,462.244
当 大瀧 愛一郎	男	高 部	52	無 所 属	新	1,305
当 岡崎 欣也	男	小 貫	56	無 所 属	新	1,238.620
当 坂本 繁輝	男	富 岡	62	無 所 属	新	1,200.003
当 淀川 茂樹	男	長 倉	60	無 所 属	現	1,191.996
当 金子 卓	男	岩 崎	63	日本共産党	現	1,064
当 秋山 信夫	男	根 本	65	無 所 属	現	999
当 掛札 行雄	男	上 小 瀬	60	無 所 属	現	981
当 田沢 祐男	男	小 田 野	71	無 所 属	現	973
当 小原 明彦	男	小 場	47	公 明 党	新	929
当 武石 寿長	男	氷 之 沢	58	無 所 属	現	891
当 小森 敏雄	男	小 場	65	無 所 属	現	890.097
当 高村 和郎	男	長 田	61	無 所 属	現	887.755
当 大貫 道夫	男	西 塩 子	66	無 所 属	現	877
当 川上 博	男	野 口	67	無 所 属	現	861
当 小森 敬太郎	男	野 上	45	無 所 属	現	847.902
当 岡崎 榮一	男	鷲 子	73	無 所 属	現	821.379
内田 勝廣	男	小 舟	61	無 所 属	現	805
堀江 鶴治	男	大 岩	72	日本共産党	現	772
萩野谷 勉	男	下 町	46	無 所 属	現	730
柏 宏明	男	田子内町	72	無 所 属	現	656

※得票数中の小数点以下の数値は按分票によるものです。

常陸大宮市食生活改善推進員連絡協議会

食生活改善推進員は、現在 215 人の会員が活動しています。

市では、正しい食生活の知識の普及を目的に、食生活改善推進員連絡協議会が組織され、その推進員が、親子クッキング教室や生活習慣病予防教室、毎月19日には食育キャンペーンなどの食育推進活動を行っています。

推進員の役割とは

- * 1日3食バランスのよい食事ができるように支援すること
- * 食に関する正しい知識を身につけ、実践できるよう支援すること
- * 食を通じて郷土料理・行事食を広めること
市食生活改善推進伝達事業実施要領(一部抜粋)より

バランス食



減塩



▲「食生活に気をつけましょう」と声掛けをしました

食育キャンペーンの様子

7月19日、イオン常陸大宮店入口とピサー口入口で、食育キャンペーンを行いました。これは、食育に関する情報が掲載されたパンフレットやティッシュなどを配り、食に対する意識を高めてもらおうと、毎月19日の「食育の日」に行っています。

当日は雨が降っていましたが、推進員が買い物客に「塩分や糖分の取りすぎに注意!」といったパンフレットを配り、減塩や糖分の過剰摂取をしないよう声掛けをしていました。

なお偶数月には、山方のエコスでも食育キャンペーンを実施しています。

<説明を聞いた人たちの声>

- ・スポーツドリンクに含まれる砂糖の量に驚いた。ドリンクが冷えていると甘さを感じにくいので、これからは気をつけたい。
- ・好きなお菓子にこんなに砂糖が使われていてびっくりした。少しの量を食べるようにしたい。
- ・糖分や塩分の適量を知らなかったので、これからは意識して摂取したい。



▲街頭キャンペーンの様子

連携型中高一貫教育

～県立小瀬高等学校～

ふれあい花壇

中高一貫教育の地域連携事業として行われている花壇整備が、6月27日に小瀬高校のJRC部員*7人と、緒川中学校生19人で行われました。

花壇は、国道293号線沿い上小瀬の旧道入り口付近にある「ふれあい花壇」と呼ばれている花壇で、サルビアの苗とマリーゴールドの苗計650株を移植し、夏花壇の準備をしました。高校生と中学生が協力して花の植え付け等の管理をすることで、一年を通して地域環境作りに貢献しています。生徒たちにとっては、自分たちで管理している花壇を見ながら通学することで、心の潤いと中高生の連帯感を得ることにつながっています。また、自分で気付いた時に、除草や花がら摘み等の作業を行っています。

小瀬高校JRC部の綱川綾華さんは「中学生に教えるのは大変でしたが、協力してできたので良かったです」と話していて、交流を深めることができました。

なお、連携型中高一貫教育は、小瀬高校、美和中学校、緒川中学校、御前山中中学校で実施しています。

※JRC部…JRCとは青少年赤十字の略で、さまざまなボランティア活動を行っています。



▲お互いに協力して



▲作業の後全員で記念撮影

美和中学校定期演奏会ゲスト出演



▲演奏会の様子

期間中には、顧問の角井先生が中学生の演奏指導をしてきました。当日は、美和中生・小瀬高生はもちろん保護者・地域の方が多数来場し、演奏会を盛り上げました。

生徒交流事業「部活動交流」で、7月5日に開催された美和中学校吹奏楽部の第24回定期演奏会に、小瀬高校吹奏楽部がゲスト出演しました。以前から美和中吹奏楽部の卒業生たちが定期演奏会の手伝いをしていて、昨年度も定期演奏会に出向き、裏方の仕事や演奏で交流を図ってきました。

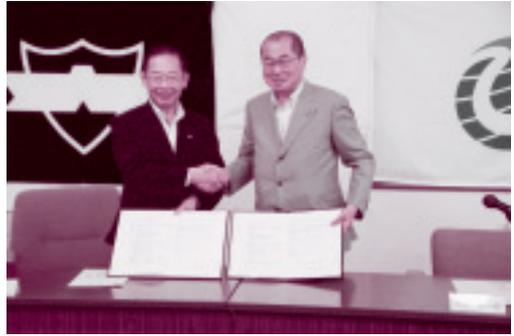
今年度は美和中学校が閉校になることもあり、交流をさらに深めるとともに最後の定期演奏会を盛り上げようと6月に合同練習会を実施し、小瀬高校のテスト



◀中学生も頑張りました

❖ 大館市と相互応援協定 ❖

7月10日、市は秋田県大館市と災害時相互応援協定を結びました。これは災害発生時に、同一災害による被害の及ばない自治体との相互支援・応援体制などのネットワークの構築を図ることを目的としています。相互支援の内容としては、被災者の受け入れ、生活必需品の提供、復旧活動に必要な職員の派遣などについて決めました。



市と大館市の縁は、1602年（慶長7年）の佐竹氏転封（国替）に従って秋田入りした小場氏（旧大宮町に代々居城をかまえた佐竹氏の一族、後の佐竹西家）が、大館城代となったことから始まります。当時は交通機関も発達しておらず、500年にわたり常陸国に土着していた佐竹氏やその家臣団にとっては大変な衝撃でした。その望郷の念から、大館城周辺に自分の故郷の「部垂」^{へたか}「長倉」などの地名を命名したといわれています。また大館市内には、小場氏に関係する寺社も現存しています。

平成9年、大館市部垂（へだれ）町に住む小学生が地名の由来に関心を持ち、旧大宮町を訪れたことがきっかけとなり、平成17年まで小学生等による交流が行われました。

一斉クリーン作戦を実施



7月6日に常陸大宮市一斉クリーン作戦を実施しました。

ごみのない清潔で住みよいまちづくりをめざして、各地区の環境保全推進委員長を中心に、地域住民や市内中学校、市ライオンズクラブ、市建設業協会、郵便局、筑波銀行など約10,600人が、道路や河川の清掃活動をしました。回収したごみは、可燃ごみ3,830kg、不燃ごみ1,890kg、その他に粗大ごみなどがありました。参加された皆さん、ご協力ありがとうございました。

すぐ対応課 処理件数

平成25年度のすぐ対応課の処理件数を報告します。詳細は次のとおりです。

なお、総件数は1,520件で、昨年度（1,367件）より増加しています。

内 容	処 理 件 数
市 道 の 補 修	814件
蜂の巣の駆除	323件
動物の死体処理	115件
そ の 他*	268件
合 計	1,520件

*その他 学校やゲートボール場などへの砂運搬等



◀蜂の巣の駆除



▶道路の補修

第5回七夕まつり in 緒川

7月15日から21日まで「第5回七夕まつりin緒川」が開催され、上小瀬の宿通りに七夕飾りが飾り付けられました。20日のイベント開催日には、チョークアーティスト松本かなこさんによる路上アートが披露されました。またステージでは、小瀬高校吹奏楽部の演奏や、子どもたちの歌の発表などがあり、祭りを盛り上げていました。



◀宿通りの七夕飾り

▼路上アート制作中



夏まつり (祇園祭)



▲街を練り歩く裸みこし



▲甲神社から
出発する子どもみこし

7月25日・26日に夏まつり（祇園祭）が開催されました。これは関東でも有名な裸みこしと屋台が、街の中心部を練り歩く祇園祭で、夏の風物詩としてたくさんの見物客でにぎわいました。特に裸みこしは勇壮な裸のぶつかり合いがあり、迫力あるみこしに、見物客からは歓声が上がっていました。

また大道芸ショーやお楽しみ抽選会などが行われ、家族連れや友だち同士で夏の夜のひとときを楽しみました。

第62回長倉七夕まつり

城下町の面影を残す長倉宿で、8月2日に長倉七夕まつりが開催されました。宿通りの見事な七夕飾りは、地元の商店や個人などが出品し、毎年コンクール形式で競い合います。また午後からは、大抽選会やカラオケ・歌謡ショーなどのステージイベントや、打ち上げ花火が催されました。



いっしょにまちづくり ～お客様にまちをご説明、ご案内できるように～

旅館業に携わって20年余り。ここ何年か、お客様の旅の目的も様変わりしてきたと感じています。ある地学部の学生さんたちの合宿で、市内での自然体験などを自分たちで苦労して計画し、手配しているのを見ました。旅館業を営む者として、何も説明できないことがもどかしく、はがゆさを感じました。

そんな時、インターネットを通して「県北ジオパーク」のインタープリター養成講座を知りました。ジオパークは大地の公園という意味で、その土地の自然や歴史などを案内する役目を担っています。知識も経験もまだ足りませんが、地域に触れ、地域を知るよいきっかけになりました。そこから、市のまちづくりネットワークや、様々な活動に参加する機会を得て、一生懸命で魅力いっぱいの方々とは出会えました。今は「ウダーベ音楽祭」に向けて、作り出す楽しみを共有させていただいています。



ジオネット常陸大宮
椎名みな子さん

お宝発見事業スタート

第1回「常陸大宮市のお宝発見事業」を、8月7日に実施しました。これは市の掲げる「郷育立市構想」の一環として、平成25年度から実施している事業です。

当日は、市内の小学4～6年生37人が参加し、ピジョン美和の森の見学や植樹体験、御前山地域でのジャガイモ掘り体験を行いました。参加した子どもたちは「森林の大切さがよく分かりました」「植えた木を大人になったら見に来たいです」と1日の体験を楽しんだ様子でした。



◀植樹の様子▼

おもしろ理科先生 in 図書館情報館

～紙で作って遊ぼう～



7月25日、おもしろ理科先生（飛田隆久先生）の小学生を対象にした教室が、図書館情報館で開催されました。紙ひこうきが飛ぶしくみや、空気の抵抗や摩擦などについて学んだ後、不思議な形の紙ひこうきやチューブプレーン、タネコプターを親子で作って飛ばしました。

ただ制作するだけでなく、科学について学び、自分で工夫して作ったオリジナルの作品は、子どもたちにとって大切な宝物になりました。

子ども会球技大会 (テーパーボール大会)

8月9日、緒川運動公園グラウンドで、各小学校支部の代表12チームが集まり、子ども会球技大会が開催されました。

子どもたちは勝利を目指して懸命にプレーし、ホームランありファインプレーありの熱い闘いが繰り広げられました。

- 優勝 若葉子ども会 (上野小学校)
- 準優勝 小野・三美子ども会 (大宮西小学校)
- 第3位 わんぱく子ども会 (大宮小学校)
- 第4位 鷹巣子ども会 (大賀小学校)



▲優勝した若葉子ども会の皆さん

夏の交通事故防止キャンペーン

スローガン

「あぶないよ よそみ いねむり けいたいでんわ」

7月22日に、大宮地域の国道118号沿線で交通事故防止街頭キャンペーンを実施しました。

これは7月20日から8月20日まで行われた夏の交通事故防止県民運動の一環で、市長や交通安全協会・交通安全母の会・安全運転管理者協議会の皆さんが、うちわやティッシュなどを配り、ドライバーに安全運転を呼びかけました。

また7月30日には、緒川地域の国道293号線、8月4日には山方地域の国道118号沿線でも同様のキャンペーンを行いました。



スポーツ・イベント

スポーツクラブひたまる 25 ラージボール卓球大会

6月28日、西部総合公園体育館において、スポーツクラブひたまる25「第1回ラージボール卓球大会」が行われました。ラージボール卓球とは、その名のとおり卓球のボールを大きくすることで、ボールスピードを減らし、よりラリーが続きやすくなったものです。

参加者10人全員が初心者でしたが、和気あいあいとした雰囲気の中で行われました。



▲参加者と大会係員で記念撮影



◀優勝・石崎三枝子

卓球の試合は初めてでしたが、ラリーが続いて運動量が多くなり、良い汗をかきました。楽しいのが何よりです。

ラージボール卓球は、年齢に関係なく楽しめます。

数十年ぶりの卓球でしたが、とても楽しくできました。ひたまる25に入会して、日常の楽しみが増えました。



◀3位・宮越一人

ちょっとハードだったけど、老化防止のためにもラージボール卓球は良いスポーツじゃないかと思いました。

▼2位・後藤佐多江



ビーチボールバレー体験教室

8月2日、西部総合公園体育館でビーチボールバレー体験教室が開催されました。ビーチボールバレーとは、ビーチボールを使ってバドミントンのコートで行う4人制のバレーボールで、子供から高齢者まで年代を問わず誰でも参加しやすいように工夫されています。ルールの説明と基礎動作の練習の後は、6チームによる練習試合が行われました。

＜参加者コメント＞

- 「妻に誘われて家族で参加したが、楽しかった」（小森秀雄さん）
- 「けっこうハードでした」（小森規子さん）
- 「楽しいので、大会等も開催して欲しい」（戸澤睦さん）



スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ



▲出場した大宮西小学校チームの皆さん
(左から)宇良虎太郎、柳井杏碧、宇良暁星、
益子楓花、菅野愛、山中悠梨音

8月9日に、仙台ヒルズゴルフ倶楽部(宮城県仙台市)において、日本ゴルフツアー機構主催による、第12回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会が開催されました。この大会は、全国各地で行われた予選会を勝ち抜いた全24チームの対抗戦で、遠い所では沖縄県からの出場もあり、茨城B地区代表として、大宮西小学校チームが出場しました。

当日は、小雨交じりの比較的涼しいコンディションで行われ、大宮西小学校チームは、善戦しましたが惜しくも第20位という結果でした。



ふるさと再発見☆カメラを持ってハイキングしよう!!

～高部宿・尺丈山編～

ウォーキングとハイキングで健康を増進しながら、普段は見過ごしてしまいがちな郷土の魅力を再発見してみようという目的で、標記イベントを実施します。

明治・大正時代から伝わる高部宿の町並みや、かつて銀行建屋として使われていた間宮邸の西洋建築、造り酒屋跡地の日本庭園「養浩園」など見所豊富。また、市内で最も高い山である尺丈山(標高511m)の頂から見渡す絶景のパノラマもぜひご堪能ください。

参加者がカメラで撮影した写真は、後日ロゼホールに展示いたします。

【開催日時】10月19日(日) 9:30～13:30

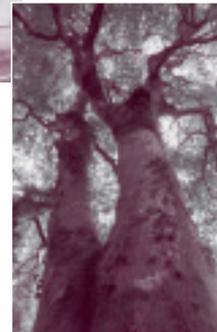
*参加募集要項は、8月25日発行のお知らせ版No.283に掲載しています。



◀間宮邸



▲尺丈山登山口



◀庭園の大木

■問い合わせ■ 生涯学習課 スポーツ推進グループ ☎52-1111 (内線343)

【お詫びと訂正】

広報常陸大宮7月号の7ページ「全国競書大会で読売大賞を受賞」に一部誤りがありました。

受賞者萩谷咲紀さんは、正しくは6年生です。お詫びして訂正します。

スポーツ大会結果

常陸大宮市テニス連盟団体戦

開催日：6月29日
主催：市テニス連盟（片野良平会長）
会場：西部総合公園テニスコート

【男子の部】

優勝 池崎組
準優勝 大子
第3位 リバーサイド



【女子の部】

優勝 プリティーローズ
準優勝 グッジョブ
第3位 JASMINE



第18回ママさんバレーボール大会

開催日：8月3日
主催：市バレーボール連盟（桑名輝美会長）
会場：西部総合公園体育館

Aブロック優勝 グルービー
Bブロック優勝 盛和球友クラブ
Cブロック優勝 大宮ユアーズ



▲グルービー



▲盛和球友クラブ



▲大宮ユアーズ

第31回県スポーツ少年団スポーツ大会 空手道大会

市民の方からのまちのできごと

6月29日、茨城県武道館で空手道大会（主催：茨城県教育委員会、茨城県体育協会）が開催され、大宮空手道スポーツ少年団から下記の選手が入賞しました。

<形の部有級>

- ・3年生の部 敢闘賞 桐原 茉梨（上野小）
- ・2年生の部 優勝 引田 愛梨（村田小）
敢闘賞 上杉 颯（村田小）
久下沼優輝（大宮小）

<形の部有段>

- ・6年生の部 優勝 仲田 怜央（大宮西小）
- ・5年生の部 第3位 藤来 日向（山方小）
- ・4年生の部 優勝 仲田 奈央（大宮西小）

赤十字救援車の配備について

日本赤十字社茨城県支部より、赤十字救援車が山方総合支所に配備されました。

災害等様々な場面において、活用していきます。



▲優勝した3人



▲第3位、敢闘賞の4人

常陸大宮の瑪瑙（火打ち石）

瑪瑙とは

瑪瑙や玉髓は、微細な石英の結晶が集合してできた鉱物です。縞模様をもつ玉髓を一般に瑪瑙と呼びます。地下深くから湧き出た熱水中の二酸化珪素が、地層・岩石の割れ目や空洞に沈殿してできたものです。非常に硬く、色は無色、白色、赤色、緑色、灰色など含まれる成分によって様々です。常陸大宮の瑪瑙は古くから全国的に有名で、ある時期までは「火打ち石（王父石）」や「水戸火打ち」という呼名が一般的だったようです。

常陸大宮の瑪瑙

市内の瑪瑙の産地は、小貝野層（1,700万年以上前）などを起源とする玉川～緒川水系と、男体山火山角礫岩（1,500万年以上前）を起源とする北富田～諸沢系の2地域に分けられ、いずれも断層に沿った脈として見られます（写真1）。赤色の瑪瑙脈は未確認ですが、玉川水系で見られる瑪瑙の礫はほとんどが赤色系です。しかし起源が同じ地層でも、那賀など緒川水系の瑪瑙は無色～白色を示します。一方、北富田～諸沢地域の瑪瑙は、ほとんどが無色～白色です（写真2）。

写真1▶

男体山火山角礫岩中の瑪瑙脈
（写真中央の白色部）



▲写真2：吉井本家製の火打鎌と火打ち石の瑪瑙
左／北富田産（白色系）、右／玉川産（赤色系）

かつて瑪瑙は生活の必需品!?

マッチ以前の火起こしの歴史をたどると、木を擦り合わせる方法から、石と金属を打ち合わせる方法へと変化してきました。そして、火花の発生に適した石（発火石＝火打ち石）として、瑪瑙、石英、チャートなどが利用されました。その中でこの地域は、瑪瑙製火打ち石の重要な産地として、古くから広く知られていました。

千葉県文化財センターの研究などによると、諸沢地域の瑪瑙は、石鏃等の石器として福島県や関東各県の縄文時代の遺跡から出土していて、大昔から貴重な石材として広く流通・活用されていたことも明らかです。さらに玉川の瑪瑙は「常陸国風土記」に“火打ち石に適する”とあることから、奈良時代には、常陸大宮の瑪瑙が発火石として利用されていたことが分かります。そして、江戸東京博物館の研究などから、江戸時代の都内の遺跡から出土する火打ち石のほとんどが、北富田～諸沢地域を主要産地とした瑪瑙であることも判明しています。水戸藩主徳川斉昭は、この地域の瑪瑙を原料にガラスの製造も行いました。

北富田～諸沢地域で産出された瑪瑙は、膨大な産出量を誇り、江戸時代からマッチが普及する時代まで盛んに採掘されて火打鎌とともに販売され、人々の生活に大きく貢献してきました（江戸時代以前の記録については不明）。マッチが普及してからも、戦時中は兵士の携帯火打ち用具に使われ、終戦前後の物資不足時には、一般家庭での需要も高まったそうです。

昭和30年代には、大量の瑪瑙が貨車で昭和電工に出荷されました。山方の神奉地では宝飾品の加工事業も行われ、採掘は昭和50年代まで続けられていました。出荷のための運搬ルートや集荷場所も、市内山方だけではなく、常陸太田市天下野や大子町西金などと交通の発達に伴って変化し、また、一時的な集積所「石倉」も造られたそうです。

今日、火打ち石は厄を払う「切り火」に利用される程度ですが、常陸大宮の瑪瑙は、『火の素』として1300年以上にわたり、人々の生活を支え続けてきました。さらに石材としては、数千年前の縄文時代からという歴史があり、未解明の貴重な歴史的遺産でその価値は多大です。“火打ち石街道”とも言うべき瑪瑙運搬ルートの解明、社会的貢献、採掘の歴史などの調査・研究が急がれます。

※細貝虎雄氏、細貝豊氏、小野瀬善真子氏より情報を得て、(財)自然史化学研究所菊池芳文氏が執筆し、寄稿していただきました。

蕁麻疹（じんましん）

～その種類と治療について～

健 康

通 信

常陸大宮済生会病院

小児科医長
佐藤 未織先生

じんましんとは、皮膚の一部が突然に赤くくっきりと盛り上がり（ぼうしん膨疹）、多くはかゆみを伴い、やがて跡形もなく消えてしまう疾患です。

大きさは数mmから数十cmまで様々で、それぞれの膨疹はほとんどが数分から数時間で消失します。ありふれた疾患ですが、その病態には未知の部分が多く残されています。

特発性じんましん

<急性じんましん>

発症してからの期間が1カ月以内のものを呼び、特に子どもは、風邪など一過性の感染症に伴うものが多く、その感染症の治癒に伴いじんましんも消失します。

<慢性じんましん>

発症してから1カ月以上経過したものを呼び、夕方から夜間にかけて症状が出現、悪化するものが多いとされ、感染、疲労、ストレス、自己抗体などが複合的に関与するといわれています。

特定の原因が明らかな刺激誘発型のじんましんには、アレルギー性じんましん、非アレルギー性じんましん、物理性じんましんなどがあります。アレルギー性じんましんは、食物、植物、薬剤、昆虫の毒素など特定のアレルゲンによる即時型アレルギー反応で、アレルゲンへ曝ばくされた後、数分から数時間以内に発生します。非アレルギー性じんましんは、タケノコ、古くなったサバなどに含まれるヒスタミンという成分で誘発されます。また物理性じんましんには、刺激の種類により機械性じんましん、寒冷じんましん、温熱じんましん、日光じんましんなどがあります。

じんましんの診断には問診、皮疹の性状と経過が大切で、そこから病型を絞り込みます。治療は原因の除去・回避、抗ヒスタミン薬を中心とした薬物療法が基本になります。治療の目標は、症状出現がない、または生活に支障のない程度まで症状が制御されている状態にすることです。過労やストレス、睡眠不足などもじんましんを誘発する悪化因子になるので、規則正しい生活をして、疲労やストレスをできるだけ溜めない、過度の飲酒を避けるなども大切です。



★高齢者にもアダルトサイトの請求トラブル★ ～スマートフォンによるワンクリック請求にも気をつけよう～

【事例】

パソコンで湿疹の薬について検索していた際、一覧に出たサイトをクリックしたところ、アダルトサイトにつながった。無料と書いてあったので、サンプル画像をクリックすると「登録完了」画面が表示された。「正規料金は98,000円だが、2日以内に支払うと68,000円になる」と書かれていた。

慌ててサイトに記載されていた業者の携帯番号に、非通知で連絡すると「電話番号を通知して連絡し直すように」と言われてしまった。請求画面も消えない。

【ひとこと助言】

アダルトサイトで、無料だと思ってクリックしたところ、いきなり料金請求画面が出た、というような相談が高齢者からも多く寄せられています。

このようなサイトでは、有料であるという表示が分かりにくい場合も多く、安易にアクセスしないことが第一です。また、むやみに同意ボタン等をクリックしたり、ダウンロードしたりしないようにしましょう。

業者に連絡をしても「間違えたなら支払わなくてもよい」とは言われません。個人情報等が知られてしまう危険性もあるので、自分から連絡してはいけません。

【請求画面の削除について】

(独)情報処理推進機構(IPA)ホームページ <http://www.ipa.go.jp/index.html>

～困った時は消費生活センターに相談しましょう～

- 茨城県消費生活センター ☎029-225-6445
 - 常陸大宮市消費生活センター ☎52-2185(直通)(本庁商工観光課内)
- ※月・水・金曜日は消費生活相談員が対応します。



VOL.3

職員のつぶやき ～職員リレートーク～

－社会人1年生－

私が担当している仕事は、国際化に対応できるまちづくりを推進するための国際交流協会への支援や、9月に行われるオーストラリアからのホームステイ受け入れ事業などです。

仕事をしていて日々思うことは、職員との連携が大切だということです。また「ほう・れん・そう(報告・連絡・相談)」を実践したり、自分の仕事を理解したうえで行動したりすれば、良い結果に繋がっていくと考えています。

石の上にも3年、ゴツゴツした石の上であっても、同期と鼓舞し合いながら、納豆のように粘り強く仕事に取り組んでいきたいと思います。



市民協働課 橋本健司

ひたまるがゆく

天体観測に挑戦!!



▲真剣に星を探すひたまる

7月7日は七夕。天の川を見るために、パークアルカディア内にあるプラネタリウム館へやってきました。そして本物の天の川も見たい欲張りなひたまるは、実際に望遠鏡をのぞいてみたところ…。この日は雲が空を覆い、雨が降っていて残念ながら見えませんでした。

日頃の行いを反省したひたまるでしたが、雨は織姫と彦星が出会えたことのうれし涙だという説を聞き、少しホッとしたのでした。



▲願いごとは…
「全国のゆるキャラの頂点に！」

御前山ビオトープ周辺の植物等



双子葉合弁花 キキョウ科ツルニンジン属

別名ジイソブと言ひ、林の中に生えるつる小生の多年草です。根が太く、朝鮮ニンジンに似ているところからこの名前がつけました。つるは2mほどに伸びて草などに巻きつき、傷つけると白い液が出て大変くさい臭いがします。花冠は広い鐘形で、内側に紫褐色の斑点があります。

(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

ニュースポーツ紹介⑩ 「パンポン」

パンポンとは、A4サイズほどの板を使って軟式テニス用のボールを打ち合う競技です。

この競技は、創業間もない頃の日立製作所日立工場の従業員たちが、昼休みにあり合わせの道具を用いて始めたレクリエーションが起源であると言われています。

ボールをパーンと打ったらポーンと帰ってくるため、パンポンという名前がつけました。



常陸大宮市の人口

(8月1日現在・推計常住者)

総人口 43,033人
(男 21,175人 女 21,858人)
世帯数 16,218世帯

広報 常陸大宮 8月 第119号

発行日 平成26年8月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail email@city.hitachiomiya.lg.jp

URL http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/

